

学生企画

科研費、寄附、クラウドファンディングについて

使用言語：日本語・日本語
解説し、研究費の今、そして未来を解き明かす。

寄附!?

“Research Fund 2.0”

一般個人からの
研究費支援

クラウドファンディング!?

RESEARCH FUND 2.0

- 新世代の多様な研究費事情 -

Exploring new ways to raise research money

“Research Fund 1.0”

科研費?

研究費?

助成金?

TSUKUBA
GLOBAL
SCIENCE
WEEK 2016

大きな組織
からの研究費
科研費・各種助成金など

筑波大学
University of Tsukuba

9月18日(日)

13:30-16:30

つくば国際会議場 304

詳しくは裏面を
ご覧ください





セッションオーガナイザー

牧野美咲
筑波大学数理物質科学研究科
博士課程2年

日 時：2016年9月18日(日) 13:30-16:30
会 場：つくば国際会議場 会議室 304

日本の研究者にとって、最も権威がある研究費源は科研費である。しかし近年、研究費を得る手段が多様化し、新しい時代を迎えようとしている。国家や財団などの大きな組織から研究費を獲得していた時代を「Research Fund 1.0」とするならば、寄附やクラウドファンディングによって一般の個人から研究費の支援を受けることが容易になった現在は「Research Fund 2.0」である。

14:20-14:40

クラウドファンディング

柴藤亮介
アカデミスト株式会社

- ・クラウドファンディングとは?
- ・具体的な事例
- ・利点、気をつけるべきこと、課題

15:00-16:20

企業と研究者を直接繋げる

坂本真一郎
株式会社リバネス

- ・L-RAD が生まれた経緯
(研究費に関する問題提起)
- ・L-RAD でできること

13:35-13:55

国から得られる研究費

加藤英之
筑波大学
URA研究戦略推進室

- ・科研費の種類や金額
- ・研究者はどれくらい科研費をもらえるチャンスがあるのか。
- ・大学からもらえる研究費はあるのか

本セッションでは、科研費、寄附、クラウドファンディングについて、関係者から講演をして頂き、Research Fund 2.0 という時代の全貌を明かす。また、パネルディスカッション「Research Fund 3.0 に向けて」では、近未来の研究者のあり方、研究費のあり方について語らう。

この場を通して、研究者を志望する学生(主として博士後期学生)が、日本の研究者を取り巻く研究費事情の全体像を掴み、意気揚々と研究者としてのファーストキャリアを歩むきっかけになることが本セッションの目標である。また、研究費に携わる様々な立場の人が、一堂に会する貴重な機会でもあるので、研究業界のより良い未来に向けて、活発な議論を展開することも目標である。

14:40-15:00

寄 附

渡 文隆
京都大学 iPS 細胞研究所
iPS 細胞研究基金事務局

- ・寄附とは?(組織としてお金を募るといったこととはどういうことか)
- ・具体的な事例
- ・利点、気をつけるべきこと、課題

13:55-14:15

財団から得られる研究費

長谷川 均
株式会社ジー・サーチ

- ・財団から貰える研究費とはどういうものか。
- ・プログラムオフィサーの存在。
- ・コラボリーについて

15:30-16:30

パネルディスカッション

-Research Fund 3.0 に向けて
- パネリスト-

柴藤亮介	アカデミスト株式会社
鳥居佑輝	アカデミスト株式会社
田部博康	関西 TLO
渡 文隆	京都大学 iPS 細胞研究所
加藤英之	URA 研究戦略推進室
長谷川均	株式会社ジー・サーチ
坂本真一郎	株式会社リバネス